

# YOKOSUKA

## LIFE PLANNER TSUSHIN

課題はすべて、可能性。





コロナ禍における生活の変化は我々の価値観を変え、今や自粛生活がスタンダードとなっています。閑散とした街並みにすっかり慣れてしまった私達。経済が停滞する中、従来から続く人口減少と少子高齢化による厳しい財政見通しに加え、人口が多かった頃に建てられた多くの公共施設も利用率の低下と老朽化が進み、公共施設の再編という厳しい大命題に向けて様々な取り組みを進めています。大規模災害を想定した対策も進めなくてはなりません。

まずはコロナ対策と経済を回すこと。限られた財源の中で最大限の効果を生み出すと同時に、未来の為に「稼げる自治体」を目指さなくてはなりません。そのためにも、現在取り組んでいる施策の「当たり前」を見直していく必要があります。これまでの働き方、公共サービスの在り方を見直し、公共施設の寿命を伸ばし、どの様に価値を高められるかを考えていきます。

一方で、これまで取り組んできた政策が少しずつ実を結び、期待が膨らむニュースや企業誘致も進んでいます。引き続き、ニーズに合わせた発信を心がけ、幅広く効果的に伝える努力をし、ブランディングの構築と今一度横須賀市への関心度を高め、Yokosukaの魅力とは何なのかを探っていきます。少ない人数や投資で大きな効果を得られるDX化を推進すること。デジタル格差の対応に皆で取り組むこと。まだまだ出来ることがあると思います。

課題はすべて、可能性。

国際的な情報発信地Yokosuka Cityになる可能性を追い求め、アグレッシブに動き回り、新たな価値を横須賀に持ち帰れるように活動してまいります。横須賀市民が長期にわたって物心共に豊かな人生を送る事の出来る機会と環境を創造することが、よこすかライフプランナーの使命だと思っています。

# 横須賀市の課題を解決する鍵、それはDX。

## 人口減少と少子高齢化

1990と2040年比較で人口が28.4%減。0-14歳の割合が4割減、15-64歳の割合が2割減になる一方で、65歳以上の割合が3.4倍に。

横須賀市人口将来推計人口の推移

年齢層	1990年	2020年	2030年	2040年
65歳以上	5万人	12.3万人	11.6万人	11.7万人
15~64歳	31.3万人	22.7万人	20.4万人	16.6万人
14歳以下	7万人	4.1万人	3.3万人	2.8万人
<b>合計</b>	<b>約43.3万人</b>	<b>約39.1万人</b>	<b>約35.3万人</b>	<b>約31.2万人</b>

## 老朽化した公共施設の再編

施設維持や更新のために毎年多額の費用がかかり、2041年以降は毎年100億以上の歳出が必要と試算されました。公共施設の再編や利用料金の見直し、利用率向上のために市外利用者への開放などもスタートします。

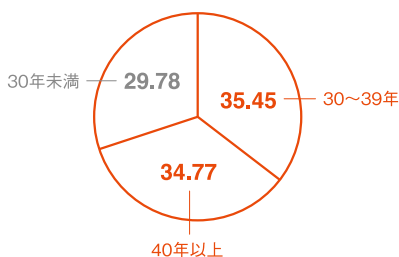
### 施設の廃止

- 追浜コミセン南館(2021年度)
- 粟田デイサービスセンター(2021年度)
- 森崎保育園・ハイランド保育園(2025年度)
- [青少年の家] 本公郷(2021年度) / 池上・武山・田浦青少年自然の家(2022年度) / 追浜・衣笠・浦賀・鴨居・久里浜・大楠・坂本(2023年度) / 森崎(2025年度)
- [市営プール] 久里浜公園・浦賀7丁目(2023年度) / 湘南鷹取5丁目第2・富浦(2024年度) / 根岸(2025年度)
- [市営住宅] 長浦(2026年度) / 大津(2027年度) / 池の谷戸(2029年度)
- [老人福祉センター] 船越(2021年度) / 池上(2022年度)

### 施設の一部機能廃止

- [老人福祉センター入浴設備] 本町・池上・鴨居・北下浦・秋谷(2021年度)

公共施設の築年数(%)



これからの横須賀を考える上で、こうした厳しい現実と向き合うことが大切です。限られた資源でより良い市民サービスを作っていく際に鍵になるのは、DX(デジタルトランスフォーメーション)です。様々な活動の中心にデジタルが組み込まれた社会を創造することで、私たちの課題は大きく解決に向かうはず。昨年は携帯電話会社の方々や「だれでもITプロジェクト」という全世代でスマホの使い方を中心にDXの勉強会を行いました。そこで得た知見を活かし今後も政策に取り組んでいきます。このような産学官連携を推進し、交流人口を増やし、協力しながら価値を作っていきます。

# 2022年の横須賀市TOPIX

\*予定です。変更になる可能性もあります

- 1月**
  - 横須賀美術館で「横須賀市立横須賀総合高校 美術活動の歩み」開催中。(～4/3)
  - 猿島でSense Island-感覚の島-暗闇の美術島2021が開催。(1/22～3/6の金土日祝)
- 2月**
  - 旧みんなの公園の代替である久里浜2丁目第2公園が新たに共用開始されます。
  - 横須賀市公式LINEに福祉全般の相談メニューが追加されます。
  - 桜の名所「走水水源地」が公園に生まれ変わり、通年解放されます。
- 3月**
  - 本町山中有料道路が3月21日より無料になります。
- 4月**
  - 市役所から徒歩1分の場所に中央こども園がオープン。病児・病後児保育も利用出来るようになります。
- 5月**
  - よこすかポートマーケットが約2年半の時を経てリニューアルオープンします。
- 10月**
  - 横浜F・マリノス練習拠点の一部がついにJR久里浜駅近くにオープンします。
  - ヴェルニー公園内に素敵なお店が営業します。
- 11月**
  - 2年ぶりにウィンドサーフィンW杯が津久井浜で開催されます。



**時期未定** BMXジャパンカップ開催  
浦賀イベント(奉行所開設300周年の後継)  
その他にも、3月の予算議会を経て来年度の取組みが決定していきます。

## その先の横須賀

- 令和5年春**
  - 長井海の手公園「ソレイユの丘」がリニューアルオープン。
- 令和7年夏**
  - うわまち病院から移転される市立病院が久里浜の現神明公園にて開業。
- 時期未定**
  - 約40年間凍結状態だった追浜駅前再開発事業の計画が開始され大きく変わります。
  - 国道357号線も八景島から夏島に延伸します。
  - 横須賀中央駅前の再開発事業も進んでいきます。

## 新規企業誘致が決まりました

- 2月**
  - ピーカープリングが大人気の(有)マロウの新工場が平成町に開設。
  - 建機用油圧フィルタの世界トップシェアを誇るヤマシンフィルタ(株)の研究開発拠点がYRPに開設。
- 8月**
  - FPD製造装置で世界トップクラスの技術を誇る(株)ブイ・テクノロジーの研究施設がYRPに開設。
- 10月**
  - 石灰石を主原料とする代替プラスチックを開発する(株)TBMの国内最大級リサイクルプラントが久里浜に開設。



## 市の取り組みを市民に伝える努力、続けていきます。

私が日々感じていること。それは、横須賀市の様々な取り組みが市民に認知されていないということです。どんなに良い取り組みも、伝わってなければ、そこにかけたお金や時間がロスになります。

様々な事業の周知方法を尋ねると「チラシやポスターを作って公共施設に配布した」「市のHPに載せた」という答弁が多々ありました。公共施設でチラシやポスターを見る人、自分からHPを見に行く人、どれだけの人がいるのでしょうか？

スマホが普及し、人の情報入手プロセスは大きく変化しています。2020年8月の横須賀市公式LINEのスタートを皮切りにSNSやアプリを使った市民サービスも増えてきており、登録者数や閲覧数が可視化出来るようになりました。利用するターゲットが明確な事業も多い為、登録者数12万人という広がりを見せる公式LINEのセグメント機能を用いて発信したり、各関係団体等が使っている既存の連絡手段に載せていただくなど、伝えたい相手にダイレクトに伝える事が出来るはず。税金を預かって行う事業を、より効果的に高い価値を高めていきたい。



一般質問において市長と議論を重ねた結果、マーケティングを含めた広報を全庁的に取り組

む為の組織変更と、より伝わる広報手段の検討、今後は事業予算を組む際に広報計画を盛り込むこと、伝わったかどうかの検証を含めたサイクルが仕組化されることになりました。

横須賀に関心を持つ人が増え、Yokosukaファンによる機運が高まれば、経済が動き、市外への影響も増えます。微力ながら自らメディアとなり、横須賀情報を発信しながら広報について勉強していきます。SNSやYouTubeも是非ご覧ください。YouTube版「よこすかライフプランナー通信」発信中。



### 「病児病後児保育予約システム」



### 「横須賀⇄北九州フェリーに乗ってきた」



### 「食のプロが勧める横須賀グルメ情報」



## すぐに動きます。

自民党派として行政のチェックをする責務を果たしながら、国・県・市と連携を図り、横須賀市民にとって有益となる様々な後方支援も行っています。

コロナ対策、国道357号線の延伸、中学校給食の開始、追浜駅周辺の開発等々、国・県と連携した活動を行ってきました。他にも様々な研究機関や企業との連携、実証実験や企業誘致もチームで推進しています。

大局の視点で仕事に取り組む一方で、地域の困りごとにもスピーディに対応しますので気軽にお声がけください。



## 新型コロナウイルスに関する最新情報

R.3.12.28時点

### 3回目ワクチン接種について

医療従事者、高齢者施設入所者等への接種を先に行い、1月からは2回目接種から原則8か月(65歳以上は7か月)が経過した方への接種が始まります。対象者には順次接種券が届きます。ワクチンは1回目、2回目接種に用いた種類に関わらずmRNAワクチン(ファイザー社かモデルナ社)を使用します。詳しくは横須賀市HPをご覧ください。



### 支援策について

個人・事業者向けの経済支援メニューや連絡先などは、横須賀市HPをご覧ください。



### 横須賀市公式ライン

横須賀市公式LINEと友達になると旬の情報が手に入ります。便利な機能が続々と追加されています。登録がまだの方は右のQRコードから。



心がキツくなったら「横須賀こころの電話」へ 046-830-5407

平日:16時～23時 / 土日祝:9時～23時 / 毎月第2水曜日:16時～翌朝6時



ウェブサイト・SNS・YouTubeもぜひ見てください <https://yokosuka-yojiro.jp/>

田中洋次郎事務所 〒239-0833 横須賀市ハイランド4-27-5 Tel/Fax 046-849-5633

 <https://twitter.com/yokosukayojiro?lang=ja>  <https://www.facebook.com/yojiro.tanaka.3>

今まさに、人々の価値観が変わろうとしています。

社会が変わろうとしています。

大切なのは、この変化にいち早く対応すること。

固定概念を捨て、新たな目線でポストコロナを見据えたまちづくりを始めれば、  
よこすかは変われます。

教育で、医療で、このまちの可能性を広げることができます。

「ヨコスカ最高!」と、住む人が思えるまちへ。

住宅メーカーと生命保険会社でたくさんの人生と向き合ってきた経験を生かし、

「よこすかライフプランナー」として、

地元横須賀のまちづくりに尽くしていきます。

**田中洋次郎** 横須賀市議会議員

栗田小学校・関東学院六浦小中高・関東学院大学卒業／住宅メーカー・生命保険会社勤務

横須賀青年八日会会長歴任／自由民主党／令和3年度総務常任委員

議会ICT化運営協議会委員長／犯罪被害者等基本条例検討協議会委員

ご質問・ご相談はお気軽に [yokosukalifeplanner@gmail.com](mailto:yokosukalifeplanner@gmail.com)

撮影地：平和中央公園